

■ 無電柱化をもっと知りたい！

無電柱化の必要性や課題を知っていただくために、パンフレット「ねりまの無電柱化」を作成し、「豊中通り無電柱化ニュース第1号」に添付して、皆さまにお届けしました。

もっと情報提供して欲しいという要望がありましたので、今回は無電柱化のメリット・デメリットをまとめましたので、ご覧ください。

[無電柱化によるメリット]

○都市防災機能の強化

地震等の大規模災害における電柱倒壊リスクがなくなり、消防活動や避難行動が可能となることで、災害に強いまちになります。

○安全で快適な歩行空間の確保

電柱がなくなり、歩行者は通行しやすくなります。

○良好な都市景観の創出

上空を覆う電柱や電線がなくなり、まちの景観が良くなります。

○資産価値の向上

沿道の資産価値が高まることが期待されます。

[無電柱化によるデメリット]

○復旧時間が増加

被災リスクは低いです。断線等した場合、箇所の特定期間を要することがある等により、無電柱化前よりも復旧に時間がかかる場合があります。

○引込工事費用が増加

新たに電線を引き込む場合や建替え時に、無電柱化前よりも費用がかかります。

○道路施設の専用柱が必要

電柱に共架していた街灯や標識は、柱を別に設置する必要があります。

■ トピックス

○ 無電柱化の推進に関する法律が施行されました。

国は、平成28年12月16日に無電柱化を総合的・計画的・迅速に推進するために法律を施行し、国および地方公共団体の責務等を明らかにしました。区は、無電柱化の推進に関して地域の状況に応じた施策の策定および実施すること等が定められています。

○ 今後のニュースについて

豊中通り無電柱化ニュースは、平成28年度内に第3号まで発行する予定です。

○ 住民協議会に興味のある方

住民協議会に参加したい方や質問等ございましたらお手数ですが、お問い合わせ先の担当までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

練馬区役所 〒176-8501
練馬区豊玉北六丁目12番1号
土木部 計画課 地中化推進係（本庁舎13階）
担当：渡辺、小山
電話：03-5984-1467（ダイヤル）

豊中通り無電柱化ニュース 第2号

発行：練馬区土木部計画課 平成29年1月

豊中通りで無電柱化に取り組むために沿道の皆様からご意見をいただいています！

区では、都市防災機能の強化・安全で快適な歩行空間の確保・良好な都市景観の創出に効果的な無電柱化に積極的に取り組んでいます。

豊中通りは、区内の主要な道路として「練馬区道路網計画」に位置付けているとともに、緊急輸送道路である環状7号線に接続する防災面からも重要な路線です。

今回、狭い歩道の豊中通りで無電柱化のモデル事業にチャレンジすることにより、無電柱化が可能となる区道の拡大を目指しています。

■ 第2回 無電柱化住民協議会

12月15日（木）午後6時30分から豊玉高齢者センターで第2回住民協議会を開催しました。

前回の住民協議会で寄せられたご意見を受けて、

① 無電柱化について

（無電柱化によるメリット・デメリット、整備手法の絞込み、地上機器の概要等）

② 道路形態について

（歩道の種類、広さ、構造）

について区から情報提供したのち、2つのグループに分かれて、意見交換を行いました。



説明の様子

○ 無電柱化住民協議会

【目的】区民と区が協働して円滑に無電柱化を推進するために設置

【構成】沿道の参加希望者および町会、豊玉高齢者センター利用者の代表者

【モデル事業の概要】

■ 事業目的

狭い歩道での無電柱化にチャレンジ

■ 路線名

豊中通り

（一期区間：練馬区豊玉中二、三丁目地内）

■ 延長

全体区間 L = 約 1,700m

（一期区間：L = 約 420m）

■ 幅員

全体幅員 W = 11.0m

（歩道幅員 約 2.0m〔両側〕）



第2回住民協議会の内容や主な意見

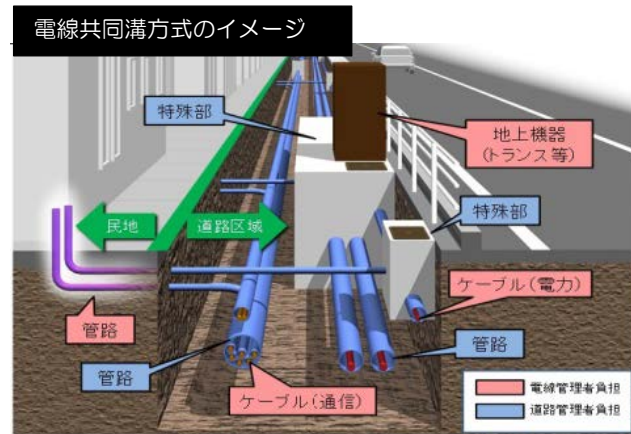
□ 無電柱化について

無電柱化には電線等を地中化しない整備手法（裏配線や軒下配線）もありますが、豊中通りでは、沿道の状況から適用できないために「電線共同溝方式」で整備することが最適であることが明らかとなりました。

また、歩道が狭いために地上機器の設置場所を工夫することも必要です。

○ 電線共同溝方式とは？

道路の地下に電線（電力、通信等）を入れる管路等を区（道路管理者）が設置し、その中に電線管理者が電線を入れる方式です。



□ 主なご意見！

（地上機器について）

- ・小さくしてほしい。
- ・通行の邪魔にならない場所に設置してほしい。
- ・落書きされないように地上機器を装飾してほしい。

○ 参考例



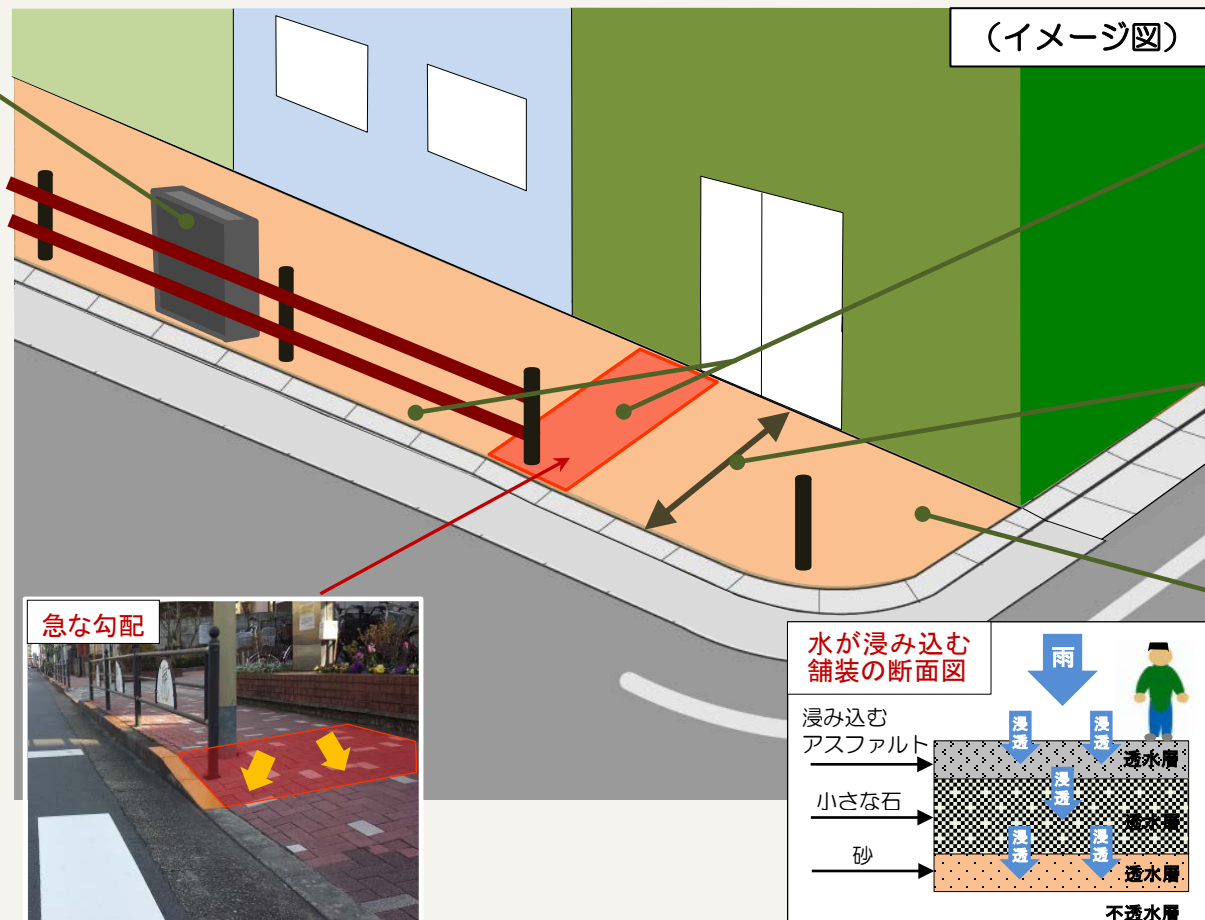
地上機器：公共施設への設置



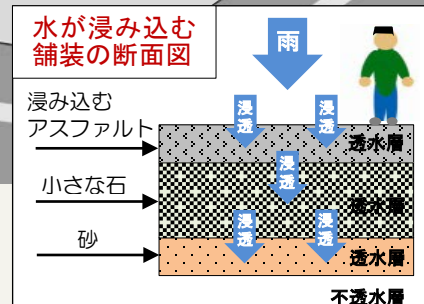
地上機器のラッピング

（工事について）

- ・整備後、すぐ道路工事をするのがないように調整してほしい。
- ・短期間で工事してほしい。



急な勾配



水が浸み込む舗装の断面図

浸み込むアスファルト
小さな石
砂
透水層
不透水層

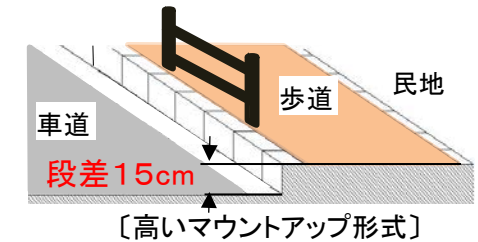
□ 道路形態について

第1回目住民協議会では、現在の歩道について様々なご意見をいただきました。

そこで今回は、歩道の形式、歩道の広さの基準および舗装の種類について区から情報提供を行い、皆様からより詳細なご意見をいただきました。歩道の形式については、いただいたご意見をもとに以下のような「段差が少ない歩道」での整備を検討していきます。

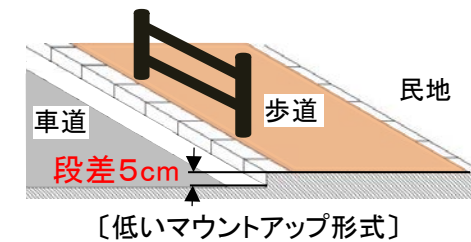
○ 段差が大きな歩道

現在の豊中通りは、このタイプになります

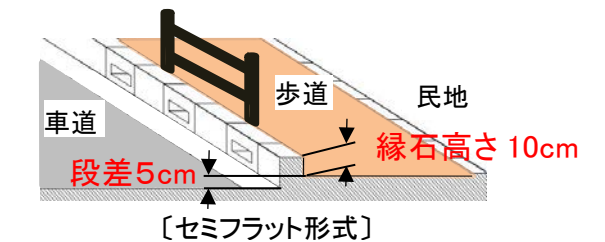


段差15cm
〔高いマウントアップ形式〕

○ 段差が少ない歩道



段差5cm
〔低いマウントアップ形式〕



段差5cm 縁石高さ10cm
〔セミフラット形式〕

（歩道の形式について）

- ・歩道と車道の段差が少ないほうが良い。
- ・歩道の傾斜（交差点や車の出入りする箇所）を緩やかにしてほしい。

（歩道の広さについて）

- ・すれ違いが難しい場合もあるので、歩道の幅を広くしてほしい。
- （注）道路全体の幅を広げることはありません。

（歩道の舗装構造について）

- ・レンガのような舗装は、おしゃれで良いが、つまづきやすい。
- ・水が浸み込む舗装がよい。可能であればカラーでしゃ熱性（太陽光による路面温度上昇の低減）にしてほしい。